

【メーリングリスト「まいど！」始めました！！】

7月1日より始まったメーリングリスト「まいど！」ですが、おかげさまで現在約90名の方にご参加いただいております。

まだまだ参加者を募集していますので、ご登録がお済みでない方、ご質問のある方は事務局までお尋ね下さい。HPからも詳細をご覧になれます。

<http://www.osaka-u.com/maido.html>

+++++

青銀会通信：会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております。

+++++

++ CONTENTS ++

【1】エッセイ 事務局長 谷 正之

(バイオ・サイト・キャピタル株 代表取締役)

【2】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ(各種団体の案内転載・再掲含む)

【3】編集後記

【1】エッセイ

諸事情から2カ月連続で事務局からのコメントになってしまいました。

先日、一般社団法人彩都バイオヒルズクラブの山西理事長の名代で箕面市立彩都の丘学園の卒業式に来賓として出席しました。

学園は丘陵の上に瀟洒な佇まいで建っていました。職員室がガラス張りで廊下から見えるのが、ちょっと驚きでした。この学校は小中9年間の一貫教育で、1年生から9年生(=中学3年)まで一緒に遠足、運動会、授業を行っているそうです。

開校一年目ですから生徒数はまだ少なく、89名。栄えある第1回目の卒業生は4名でした。

アットホームな雰囲気の中、厳かに卒業式が始まりました。小学生達から卒業生一人一人への感謝の贈る言葉、卒業生から子供たちへの思いやりある答辞を聞いていると、ふと、「きっと、この学校では虐めは無いんじゃないかな」と思いました。

同じ空間、同じ時間で、中学2、3が小学校1、2年生の面倒を見るとなると、責任や思いやりが強く芽生えるのではないかと思います。卒業する9年生の堂々とした姿を見るとそう感じました。

最近、核家族化、少子化の中で年の離れた兄弟や近所の子供の面倒を見る機会が減っています。私は山の中の田舎の小さな学校でしたから、近所のお兄ちゃんに面倒を見られ、近所の小さい子の面倒を見て育ちました。

それが直ちに虐めの原因ではないと思いますが、意外とそんなことにあるのかも知れません。

彩都地域の箕面側はこれからマンションや戸建てが増えて行くでしょうから、彩都の丘学園も生販やかになって行くでしょう。彩都の丘学園で学んでいる優しさと思いやりを持った小中学生が、彩都ライフサイエンスパークを横目に見ながら科学を目指す若者として成長してくれればいい

な～と勝手な思いをしながら、学園からの坂道を下りて帰途につきました。

話は変わりますが、生徒も先生も皆、国歌を歌っていました。当日、校門で日教組の方(?)が「君が代歌うな！」のピラを配っていたのはちょっと興ざめでした。教育者が教育現場で決められたルールを守ることを示さなければ、生徒に物事の通りを守ることを教えることはできません。君が代問題は、子供たちは成長して自分自身が判断すればいいことです。まだ、判断能力に乏しい子供の時分から巻き込むのはいかななものでしょうか(そう言う意味で橋下市長は正しいと思います)

【2】公募・イベント・セミナー等のお知らせ《再掲含む》

[バイオ関連イベントカレンダー] は

<http://www.kinkibio.com/cgi-bin/scheduler/sche6.cgi>

*** 公募・助成金情報 ***

=====

平成 24 年度「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」の第 1 次公募

=====

【公募期間】2012 年 3 月下旬～4 月中旬（最終日は正午迄）

【説明会】

公募説明会を開催し、当該公募に係る内容、提案書類等について説明致します。

出席は応募の必須条件ではありませんが、応募を予定される方は可能な限り出席願います。

[大阪会場（第 1 回）]

2012 年 3 月 23 日（金）約 50 名 受付：9:45～

10:00～12:00 NEDO 関西支部 会議室

大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 10 号 梅田ダイビル 16 階

[大阪会場（第 2 回）]

2012 年 3 月 23 日（金）約 50 名 受付 13:15～

13:30～15:30 NEDO 関西支部 会議室

大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 10 号 梅田ダイビル 16 階

[大阪会場（第 3 回）]

2012 年 4 月 2 日（月）約 50 名 受付：13:15～

13:30～15:30 NEDO 関西支部 会議室

大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 10 号 梅田ダイビル 16 階

【問合せ先】(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構省エネルギー部

担当者：「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」事務局

E-mail：shouene@ml.nedo.go.jp

【詳細 URL】http://www.nedo.go.jp/koubo/DA1_100017.html

=====

第 89 回（平成 24 年度第 1 次）新技術開発助成

=====

【公募期間】2012 年 4 月 1 日（日）～20 日（金）

【問合せ先】(財)新技術開発財団

TEL：03-3775-2021 FAX：03-3775-2020

E-mail：zaidan-mado@sgkz.or.jp

【助成対象】

[企業の要件]

- (1) 資本金 3 億円以下または従業員 300 名以下で、自ら技術開発する会社であること
- (2) 大企業（資本金 3 億円超、かつ従業員 300 名超）及び上場企業の関係会社でないこと

[開発技術の要件]

- (1) 独創的な国産の技術であり、本技術開発に係わる基本技術の知的財産権が特許出願等により主張されていること
- (2) 開発段階が実用化を目的にした開発試作であること。すなわち、“原理確認のための試作”や“商品設計段階の試作”は対象外
- (3) 実用化の見込みがある技術であること
(過去に当財団の助成を受けたテーマの場合はその開発完了認定技術の改良のための新技術であること。)
- (4) 開発予定期間が原則として 1 年以内であること
- (5) その技術の実用化で経済的効果が大きく期待できること
- (6) 自社のみの利益に止まらず、産業の発展や公共の利益に寄与すること
- (7) 同じ技術開発内容で他機関からの助成を受けていないこと

[助成対象外]

- (1) 医薬品およびソフトウェア製品の実用化開発
- (2) 国の承認審査のために必要な臨床試験段階の開発
- (3) 研究段階、商品設計段階、量産化段階の技術開発

【詳細 URL】<http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html>

=====

日本 - タイ (NSTDA) 研究交流課題の募集～「微生物バイオテクノロジー」
「アグロバイオテクノロジー」「機能ゲノミクステクノロジー」～

=====

研究者の国際的な交流を推進する「戦略的国際科学技術協力推進事業」を実施しております。本事業では、平成 24 年度にタイと「バイオテクノロジー」に関する研究交流の支援を行うこととし、課題を募集いたします。

【公募期間】2012 年 2 月 8 日（水）～4 月 18 日（水）17:00 必着

【事業目的】革新的な新しい技術につながる世界的な研究成果を目指して

「バイオテクノロジー」分野における日本 - タイ間の研究交流を強化すること。

【募集対象】

1. 微生物バイオテクノロジー

- (1) パイロットスケールによる生産時間短縮および生産コスト低下の検証を視野に入れた、

組み替えタンパク質または生物学的製剤の生産能力の向上のための新技術

(2)多遺伝子発現のための異種発現システムの改良に向けた新技術

2. アグロバイオテクノロジー

(1)主要農作物の改善のためのバイオテクノロジー利用

3. 機能ゲノミクステクノロジー

(1)ゲノムデータおよび遺伝子/遺伝子産物の機能の大規模解析のための新技術

(2)遺伝子/遺伝子群の特性評価および正確・精密なハイスループットゲノム解析のための新規解析技術

【応募資格】JST と BIOTEC (タイ国家科学技術開発庁 (NSTDA) の一センターである、国家遺伝子工学バイオテクノロジーセンター) は、上記のような「バイオテクノロジー」分野における研究交流課題の提案を、日本とタイの研究者から募集します。応募にあたり各国における応募条件を満たす必要があります。採択されるためには、既に研究基盤のある研究がさらに強化され、付加的な価値が創出される研究交流であることが必要です。なお、企業の研究者も研究交流に参加可能です。

【支援内容】<日本側研究者>3年間で上限1,500万円の委託研究費

【詳細 URL】http://www.jst.go.jp/sicp/announce_th2nd.html

【お問い合わせ先】独立行政法人科学技術振興機構

国際科学技術部 事業実施担当 宇佐見、金子、岸田

TEL : 03-5214-7375 FAX : 03-5214-7379

E-mail : sicpth@jst.go.jp

=====

「研究成果最適展開支援プログラム A-STEP」

産学連携・大学シーズの研究開発を推進！

=====

A-STEP は開発段階や開発リスクに応じた、開発費や開発期間の異なる 6 種類の支援タイプを用意し、産学共同研究に対する総合的な支援を実施しています。

開発の進捗に合わせて、複数の支援タイプをつなぎ合わせて研究開発をシームレスに実施することができます。

今回の公募は、本格研究開発ステージの 4 タイプが公募対象です。また、昨年度の募集の内容から変更がございます。詳しくは公募要領をご覧ください。

【研究開発費】 ~20 億円

【研究開発期間】 ~7 年程度

【公募期間】2012 年 2 月 21 日 (火) ~4 月 5 日 (木) 正午

【公募要領・申請書】

公募要領、申請書様式は A-STEP ホームページからダウンロードできます。

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

【公募対象】 本格研究開発ステージ 4 タイプ (サブタイプを含めて 7 種類)

起業挑戦タイプ

起業挑戦タイプ (若手起業育成)

ハイリスク挑戦タイプ

シーズ育成タイプ

実用化挑戦タイプ(中小ベンチャー開発)

実用化挑戦タイプ(創薬開発)

実用化挑戦タイプ(委託開発)

【公募説明会】各地で公募説明会を行う予定です。

【詳細 URL】<http://www.jst.go.jp/a-step/>

【追加情報】(企業様、コーディネータ様宛)

2012年2月9日よりA-STEP・探索タイプによる技術移転シーズ紹介集をウェブ上で公開しております。

<http://www.jst.go.jp/a-step/seeds/index.html>

技術移転シーズ紹介集では、A-STEP・探索タイプの平成22年度終了課題のうち、事後評価において高評価が得られ、かつ、企業とのマッチングを希望している課題を「技術移転シーズ」として企業の皆様にご紹介するものです。産学連携を加速し、研究成果の実用化を進めていただきたいと思います。

【お問合せ】

独立行政法人科学技術振興機構(JST) 産学連携展開部 事業推進(募集・探索)担当

TEL:03-5214-8994 FAX:03-5214-8999 e-mail:a-step@jst.go.jp

=====
福祉用具実用化開発推進事業の公募予告
=====

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構は、平成24年度福祉用具実用化開発推進事業に係る助成事業者の公募を行う予定です。

なお、本事業は、平成24年度の政府予算に基づき実施するため、予算案等の審議状況や政府方針の変更等により、公募の内容や採択後の実施計画、概算払の時期等が変更される場合があります。

【公募期間】2012年4月中旬～6月中旬(最終日午後17時まで)(予定)

【概要・目的】「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」に基づき、福祉用具の開発を行う企業等に対して助成金を交付することにより、福祉用具の実用化開発を推進し、高齢者、心身障がい者及び介護者の生活の質を向上することを目的としています。

【詳細 URL】http://www.nedo.go.jp/koubo/EK1_100007.html?from=nedomail

【お問い合わせ先】バイオテクノロジー・医療技術部 医療グループ

担当者：八木・小林 TEL：044-520-5230 FAX：044-520-5233

*** イベント情報 ***

大阪府立大学ナノ科学・材料人材育成拠点 第22回N2RC拠点セミナー

『SPring-8の高輝度放射光による最先端構造計測』【新規】

日時：2012年3月21日(水) 15:00~17:00

場所：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス A12棟 サイエンスホール

詳細：http://www.nanosq.21c.osakafu-u.ac.jp/topics/workshop/2011/3_21.html

お問合せ先：大阪府立大学 理学系研究科 物理科学専攻 久保田 佳基

NanoSquare 拠点事務局 TEL：072-254-8278 (担当：坪井)

E-mail：nanosquare@21c.osakafu-u.ac.jp

新適塾「脳と社会」第5回「脳の暗号を解読する」【新規】

日時：2012年3月21日(水) 17:30~19:00(講演会) 19:00~20:00(懇親会)

場所：千里ライフサイエンスセンタービル

5階 サイエンスホール(講演会) 5階 501~503号室(懇親会)

詳細：<http://www.senri-life.or.jp/shinteki/shinteki-noutosyakai.html#shinteki-nou-1>

お問合せ先：(公財)千里ライフサイエンス振興財団「脳と社会」係

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002 E-mail：tkd@senri-life.or.jp

第2回健康科学推進フォーラム【新規】

日時：2012年3月21日(水) 13:30~

場所：中之島センタービル 29F 会議室

詳細：http://www.webohs.jp/hsisc/kenkou_forum01.html

お問合せ先：(公社)関西経済連合会・健康科学推進会議

FAX：078-222-1759 E-mail：kobe@g21group.com

【ヘルスケアビジネスセミナー】ここにチャンス！先制医療の
バイオマーカー分野にものづくり技術が求められている！【新規】

日時：2012年3月22日(木) 14:00~17:30

場所：大阪産業創造館 4F イベントホール

詳細：http://mg.sansokan.jp/r/c.do?daY_GFso Js_hmp

お問合せ先：大阪産業創造館イベント・セミナー事務局

TEL：06-6264-9911 FAX：06-6264-9899 E-mail：ope@sansokan.jp

予防医療の先端技術と産学連携による新ビジネスの創出【新規】

日時：2012年3月22日(木) 13:30~17:40

場所：関西経済連合会 29階 会議室(中之島センタービル)

詳細：http://keihanna.biz/business/event/venture_forum.html

お問合せ先：(財)関西文化学術研究都市推進機構 大阪オフィス(担当：天野・櫻)

TEL：06-6441-9213 FAX：06-6441-9347

第12回バイオメディカル研究会「関西発医療イノベーション：最初に越える3つの壁」【再掲】

日時：2012年3月23日(金) 13:00~17:35

場所：阪大中之島センター 佐治敬三メモリアルホール(10F)

詳細：<http://www.jsbi.org/event/local-sections/kansai/12/>

お問合せ先：日本バイオインフォマティクス学会事務局 E-mail：biomed12.2012@gmail.com

平成23年度新資源生物変換研究会シンポジウム【新規】

「セルロソームとセルラーゼの新たな展開：“シュガー・プラットフォーム”の構築に向けたクロストリジウム」

日時：2012年3月25日(日) 13:30~16:30

場所：京都女子大学

詳細：http://www.jba.or.jp/top/2012/0325_shin_sigen.html

お問合せ先：(一財)バイオインダストリー協会 新資源生物変換研究会 担当：穴澤・矢田

TEL：03-5541-2731 FAX：03-5541-2737

医工連携ニーズ・シーズセッション【新規】

日時：2012年3月26日(月) 12:00~13:30(第1回) 15:00~15:45(第2回)

場所：大津プリンスホテル コンベンションホール淡海 2階

詳細：http://www.shigaplaza.or.jp/ikons_session/

お問合せ先：(公財)滋賀県産業支援プラザ 新事業支援部 新事業支援グループ

TEL：077-511-1414 FAX：077-511-1418 E-mail：shin@shigaplaza.or.jp

神戸医療産業都市推進協議会発足記念セミナー「関西イノベーション国際戦略総合特区」【新規】

- アジア No1.バイオメディカルクラスターを目指して -

日時：2012年3月26日(月) 13:00~18:30

場所：神戸商工会議所 3階神商ホール(セミナー) 2階イベントホール(交流会)

詳細：<https://ez-entry.jp/kbic/entry/>

お問合せ先：神戸市企画調整局 医療産業都市推進本部 推進課

TEL：078-322-6569 FAX：078-322-6010

第8回 先端医療センター Monthly Lecture【新規】

日時：2012年4月4日(水) 16:00~18:00

場所：臨床研究情報センター (TRI) 2階

詳細：http://www.ibri-kobe.org/event/pdf/2012/monthly_8th_outline_2.pdf

お問合せ先：TEL：078-306-0708 E-mail：qanda@fbri.org

第103回 彩都バイオサイエンスセミナー【新規】

「バイオベンチャーのための公的支援策・助成金セミナー ~ 施策紹介と助成金等申請のポイント ~」

日時：2012年4月9日(月) 11:00~12:00(セミナー) 12:00~13:00(交流会)

場所：彩都バイオヒルズセンター 2階会議室 A

詳細：<http://www.saitobio-hc.com/seminar.html>

お問合せ先：彩都バイオヒルズクラブ(事務局：バイオ・サイト・キャピタル株)

新適塾「未来創薬への誘い」【新規】

第 18 回会合「ケモカイン受容体を標的としたがん治療戦略の創生」

日時：2012年4月16日(月) 18:00~20:30

場所：千里ライフサイエンスセンタービル

5階サイエンスホール(講演会) 6階千里ルームA(懇親会)

詳細：http://www.senri-life.or.jp/shinteki/shinteki_juku-miraisouyaku.html#shinteki-mirai-11

お問合せ先：(公財)千里ライフサイエンス振興財団

TEL : 06-6873-2001 FAX : 06-6873-2002 E-mail : sng@senri-life.or.jp

千里ライフサイエンスセミナー「スーパーコンピュータ「京」の医療・創薬分野への応用」【新規】

日時：2012年4月20日(金) 10:00~16:55

場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5階 ライフホール

詳細：<http://www.senri-life.or.jp/seminar-1.html#seminar-D1>

お問合せ先：(公財)千里ライフサイエンス振興財団 セミナー D1 事務局

TEL : 06-6873-2001 FAX : 06-6873-2002

BI0tech2012 - 第11回 国際バイオテクノロジー展 / 技術会議【新規】

日時：2012年4月25日(水)~27日(金) 10:00~18:00 (27日のみ 17:00 終了)

場所：東京ビッグサイト

詳細：<http://www.bio-t.jp/Home/>

お問合せ先：BI0tech 事務局 リード エグジビション ジャパン(株)内

担当：瀬戸・杉本・小木曾・二エ・石本

TEL : 03-3349-8509 FAX : 03-3349-4922 E-mail : bio@reedexpo.co.jp

酵素工学会 第67回講演会【新規】

日時：2012年4月27日(金) 10:00~

場所：京都テルサ(京都府民総合交流プラザ内)

詳細：http://www.enzyme-eng.com/modules/pico03/index.php?content_id=10

お問合せ先：京都大学大学院農学研究科 応用生命科学専攻 発酵生理学研究室内

酵素工学会 事務局 TEL・FAX : 075-753-6462

E-mail : enzyme@adm.kais.kyoto-u.ac.jp

【3】東日本大震災関連支援策のご紹介【再掲】

~東日本大震災により影響を受けられた研究機関・研究者の方を対象とした支援策のご紹介~

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

タンパク質関連プロジェクトを進める「プロテイン・モール関西」(会長：勝部幸輝

大阪大学名誉教授、事務局：大阪バイオ・ヘッド・クォーター)では、会員の皆様が提供されて

いる、東日本大震災によって直接影響を受けられた研究機関や研究者の方などを対象とした支援

策を、下記のとおりご紹介しています。詳細につきましては、各機関にお問い合わせください。

独立行政法人医薬基盤研究所

震災でお困りの研究者を対象に、細胞、ヒト由来 DNA・血清等、及びマウス凍結胚・精子の「保護預かり」を平成 24 年 3 月末まで「無料」にさせていただきます。

<http://www.nibio.go.jp/news/2011/03/000137.html>

大阪大学蛋白質研究所

被災された研究者支援のため、共同研究員の追加募集をします。

<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/jpn/topics/shinsai110407.php>

独立行政法人産業技術総合研究所関西センター

実験場所の提供、実験装置の利用、受託研究などのご相談に応じています。

下記の HP「お問い合わせ」からご連絡ください。

http://unit.aist.go.jp/kansai/inquiry_web.html

大阪府

震災の影響等を受けた企業等へ一時避難のための事務所などをご案内しています。

<http://www.pref.osaka.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=6640>

【4】編集後記

ここ数日、卒業式帰りの袴姿の女性を多く見かけましたが、旅客車両にとっても卒業シーズンのようです。

- ・初代「のぞみ」100 系、300 系
- ・大阪 - 青森を結ぶ寝台特急「日本海」
- ・ロマンスカー「HiSE 10000 形」「RSE 20000 形」
- ・大阪 - 鳥取を結ぶ特急「はまかぜ」・・・

ちなみに「はまかぜ」は、今後ミャンマー国内で旅客車両として使われるそうです。日本から国外に譲渡された中古鉄道車両は、アジアを中心に各国で今なお活躍しており、特にインドネシアのジャカルタでは、軌間と電圧が日本の一部の私鉄線と同じだったことから、多く使用されているようです。

思い出のある車両がなくなってしまうのは寂しいですが、海外で大切にされながら使われているのは非常に嬉しいことです。

皆様からのメルマガ掲載記事の投稿・応募、ご意見ご要望などもお待ち申し上げます。

発行責任者：青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>

編集：青い銀杏の会 事務局

メールマガジン連絡先：info@osaka-u.com

このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。

Copyright (c) 2011 青い銀杏の会. All rights reserved.